

2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月6日

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 9355 URL <http://www.rinko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南波 秀憲
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 前山 英人 TEL 025-245-4112
 四半期報告書提出予定日 2019年8月9日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	4,409	3.2	151	△38.2	185	△31.5	130	△34.9
2019年3月期第1四半期	4,274	7.5	245	119.9	271	117.2	200	127.4

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 19百万円 (△79.6%) 2019年3月期第1四半期 94百万円 (△51.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	48.47	—
2019年3月期第1四半期	74.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第1四半期	38,190	14,948	39.1	5,541.44
2019年3月期	37,691	15,010	39.8	5,564.24

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 14,948百万円 2019年3月期 15,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,760	△0.9	450	0.6	460	0.3	340	1.3	126.04
通期	17,500	△0.7	790	0.3	795	0.1	570	0.4	211.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	2,700,000株	2019年3月期	2,700,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	2,418株	2019年3月期	2,394株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	2,697,600株	2019年3月期1Q	2,697,606株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

2019年4月1日から6月30日までの3ヶ月間（以下、当第1四半期）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続く中で緩やかな回復基調を維持しておりますが、世界経済については、米中貿易摩擦をはじめとする各国の通商問題や、中国経済の減速、欧州経済の動向など、先行き不透明な状況が続いていると認識しております。

当社企業グループの主要な事業拠点であります新潟港では、貨物取扱量は前年同四半期比で減少いたしました。

このような事業環境にあって当社企業グループは、主力である運輸部門において一般貨物、コンテナ貨物ともに貨物取扱量が伸長し増収となりましたが、主に下払コストや設備投資に伴う一時的な経費などが増加し減益となりました。

この結果、当第1四半期の当社企業グループの売上高は44億9百万円（前年同四半期比3.2%の増収）、営業利益は1億5千1百万円（前年同四半期比38.2%の減益）、経常利益は1億8千5百万円（前年同四半期比31.5%の減益）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億3千万円（前年同四半期比34.9%の減益）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります

(運輸部門)

当社運輸部門と運輸系子会社4社を合わせた同部門の当第1四半期の貨物取扱数量は、一般貨物は前年同四半期比2.9%の増加、コンテナ貨物は前年同四半期比4.1%の増加と一般貨物、コンテナ貨物共に堅調に推移し、合計で前年同四半期比3.6%増加の158万1千トンとなりました。また、収支につきましては、貨物取扱数量の増加や、今年3月に危険品倉庫が稼働を開始したことなどから、同部門の売上高は26億1千9百万円（前年同四半期比0.4%の増収）となりましたが、経費面では、トラック輸送コストの増加に加え、新倉庫に係る減価償却費や消耗品費が増加したほか、既存倉庫の改修に伴う一時的な経費増加の影響もあり、同部門のセグメント利益は4百万円（前年同四半期比94.4%の減益）となりました。

(不動産部門)

同部門の業況に大きな変動はなく、概ね前年同四半期並みで推移した結果、売上高は7千9百万円（前年同四半期比0.9%の増収）、セグメント利益は4千9百万円（前年同四半期比0.9%の増益）となりました。

(機械販売部門)

機械販売において大型の建設機械の販売が寄与し、整備を合わせた同部門の売上高は、3億5千5百万円（前年同四半期比22.0%の増収）となりましたが、整備作業の外注費が嵩み、4百万円のセグメント損失（前年同四半期は3百万円の損失）となりました。

(ホテル事業部門)

株式会社ホテル新潟は、今年5月の大型連休中の宿泊客数の増加が寄与し宿泊部門が好調に推移した他、レストラン、宴会各部門も堅調に推移し、前年同四半期比で増収増益となりました。一方、株式会社ホテル大佐渡では、6月に発生した山形県沖地震により宿泊客のキャンセルが発生したことなどから、前年同四半期比で減収減益となりました。

これらの結果、ホテル2社を合わせた同部門の売上高は、8億2千5百万円（前年同四半期比0.8%の増収）、セグメント利益は8千9百万円（前年同四半期比0.1%の増益）となりました。

(商品販売部門)

建設資材の販売において、生コンをはじめとしたセメント系商品の販売が増加したことなどにより、同部門の売上高は4億9千5百万円（前年同四半期比13.7%の増収）となりましたが、その他の利益率の高い商材の取扱いが伸び悩み、セグメント利益は1千1百万円（前年同四半期比14.9%の減益）となりました。

(その他)

保険代理店業、産業廃棄物の処理業を合わせたその他の売上高は、6千4百万円（前年同四半期比13.3%の増収）、セグメント利益は0百万円（前年同四半期比90.0%の減益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて4億9千9百万円増加し、381億9千万円となりました。この主な要因は、固定資産において、現在工事中の新倉庫に関する建設仮勘定が4億2千4百万円増加したことなどによるものであります。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて5億6千万円増加し、232億4千1百万円となりました。この主な要因は、流動負債の減少2億9千7百万円、固定負債の増加8億5千8百万円であります。なお、固定負債の増加につきましては、新倉庫建設に伴う借入金の増加になどにより、長期借入金が8億9千3百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べて6千1百万円減少し、149億4千8百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金の増加4千9百万円、その他有価証券評価差額金の減少1億2千2百万円、退職給付に係る調整累計額の増加1千1百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社企業グループの主力である運輸部門におきましては、危険品倉庫の稼働率を上げるため集荷活動に努め、また、トラック輸送コストが増加傾向にある中、運賃の見直しにも取り組んでおります。従いまして、2019年5月10日の決算短信で公表しました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、現時点では見直しを行っておりません。

なお、引き続き今後の事業環境の推移や業績の進捗を注視し、見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

（注）上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	954,994	686,654
受取手形及び営業未収入金	3,191,812	3,477,036
電子記録債権	235,005	261,748
たな卸資産	130,488	124,779
未収還付法人税等	261	2,245
その他	103,844	139,337
貸倒引当金	△1,174	△1,315
流動資産合計	4,615,232	4,690,487
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,155,365	22,199,173
減価償却累計額	△15,933,521	△15,842,354
建物及び構築物(純額)	6,221,844	6,356,819
機械装置及び運搬具	2,368,317	2,386,415
減価償却累計額	△2,011,756	△2,027,927
機械装置及び運搬具(純額)	356,561	358,488
土地	22,033,875	22,033,875
リース資産	737,816	696,415
減価償却累計額	△341,242	△318,923
リース資産(純額)	396,573	377,491
建設仮勘定	783,082	1,207,468
その他	1,242,741	1,239,812
減価償却累計額	△1,069,719	△1,072,872
その他(純額)	173,022	166,939
有形固定資産合計	29,964,959	30,501,082
無形固定資産		
リース資産	36,616	33,669
その他	72,158	68,865
無形固定資産合計	108,774	102,534
投資その他の資産		
投資有価証券	2,650,083	2,524,133
繰延税金資産	120,051	136,095
その他	426,244	430,273
貸倒引当金	△194,119	△194,148
投資その他の資産合計	3,002,260	2,896,354
固定資産合計	33,075,994	33,499,971
資産合計	37,691,227	38,190,458

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,930,371	2,019,294
電子記録債務	161,687	222,534
短期借入金	2,300,000	2,100,000
1年内返済予定の長期借入金	2,809,968	3,014,404
1年内償還予定の社債	50,000	—
リース債務	147,103	142,076
未払法人税等	153,640	61,916
賞与引当金	302,866	153,414
営業外電子記録債務	1,022,425	680,918
その他	892,367	1,078,658
流動負債合計	9,770,430	9,473,218
固定負債		
長期借入金	5,234,948	6,128,020
リース債務	312,946	294,542
繰延税金負債	860,012	854,328
再評価に係る繰延税金負債	4,888,414	4,888,414
退職給付に係る負債	1,272,619	1,265,652
資産除去債務	168,567	169,131
その他	173,151	168,667
固定負債合計	12,910,660	13,768,757
負債合計	22,681,091	23,241,976
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,241	809,241
利益剰余金	2,728,589	2,778,409
自己株式	△7,014	△7,062
株主資本合計	5,480,816	5,530,588
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	450,271	327,705
土地再評価差額金	9,435,683	9,435,683
退職給付に係る調整累計額	△356,635	△345,495
その他の包括利益累計額合計	9,529,319	9,417,893
純資産合計	15,010,136	14,948,482
負債純資産合計	37,691,227	38,190,458

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高		
運輸作業収入	2,363,881	2,374,280
港湾営業収入	48,129	35,939
不動産売上高	72,485	73,199
機械営業収入	277,286	346,518
ホテル営業収入	815,164	821,298
商品売上高	428,228	486,786
その他の事業収入	269,121	271,221
売上高合計	4,274,298	4,409,244
売上原価		
運輸作業費	2,137,322	2,220,823
港湾営業費	30,371	29,643
不動産売上原価	24,756	25,049
機械営業費	258,989	330,741
ホテル営業費	638,086	646,499
商品売上原価	411,325	471,865
その他の事業費用	169,938	183,238
売上原価合計	3,670,791	3,907,859
売上総利益	603,507	501,384
販売費及び一般管理費	357,793	349,628
営業利益	245,713	151,756
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	40,312	53,062
雑収入	6,934	2,697
営業外収益合計	47,247	55,760
営業外費用		
支払利息	21,122	19,859
雑支出	537	1,887
営業外費用合計	21,659	21,747
経常利益	271,301	185,769
特別利益		
固定資産売却益	569	44
特別利益合計	569	44
特別損失		
固定資産処分損	4,790	15,210
特別損失合計	4,790	15,210
税金等調整前四半期純利益	267,080	170,604
法人税、住民税及び事業税	81,028	61,610
法人税等調整額	△14,712	△21,754
法人税等合計	66,316	39,856
四半期純利益	200,764	130,748
親会社株主に帰属する四半期純利益	200,764	130,748

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	200,764	130,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114,421	△122,565
退職給付に係る調整額	8,180	11,139
その他の包括利益合計	△106,241	△111,426
四半期包括利益	94,523	19,321
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	94,523	19,321

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,607,199	72,485	277,286	815,164	428,228	4,200,364	73,933	4,274,298
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,128	6,166	14,184	3,051	7,582	33,113	-	33,113
計	2,609,327	78,652	291,471	818,215	435,811	4,233,478	73,933	4,307,411
セグメント利益又は損失(△)	88,296	49,054	△3,102	89,891	13,048	237,187	7,730	244,918

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	237,187
「その他」の区分の利益	7,730
セグメント間取引消去	292
その他の調整額	502
四半期連結損益計算書の営業利益	245,713

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売部門	ホテル事業部門	商品販売部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	2,617,315	73,199	346,518	821,298	486,786	4,345,118	64,125	4,409,244
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,465	6,166	8,967	3,866	8,768	30,234	—	30,234
計	2,619,781	79,365	355,486	825,165	495,554	4,375,352	64,125	4,439,478
セグメント利益又は損失(△)	4,916	49,519	△4,615	89,949	11,107	150,877	769	151,647

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	150,877
「その他」の区分の利益	769
セグメント間取引消去	100
その他の調整額	9
四半期連結損益計算書の営業利益	151,756

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。